



はじめに

市民の皆さんには、日ごろから市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

いよいよ本年7月には、念願の京都縦貫自動車道が全線開通し、丹後と京阪神、名古屋・中京圏、北陸を結ぶ交通アクセスが飛躍的に向上する「北近畿新時代」が到来します。この機会を適確にとらえ、大都市圏など市域外の方や企業・関係機関との交流をさらに進め、観光や産業に活かすとともに、京丹後の豊かな自然を大切に育み、環境にやさしいまちづくりに取り組んでいきます。

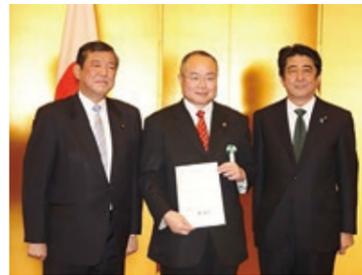
昨年度は、第2次京丹後市総合計画を策定し、また、「地域再生計画」の国の第1号認定を受け、その交付金を活用して新シルク産業創造事業や夢まちづくり大学運営事業などを平成26年度3月補正予算に計上し、平成27年度予算とあわせ「13か月予算」として編成しています。

市民ひとりひとりの想いと力を合わせ、市民総参加で「和のちから」がますます輝き、喜びと笑顔が広がり続けるまちを目指し、「誰ひとり置きざりにされない」、「支え合い、助け合う」、「市民総幸福」のまちづくりを進めていきたいと考えています。

ついでには、市の予算は、このような施策を体系的に進めていく行政サービスの大要を定めるものですが、平成27年度の予算に計上した京丹後の仕事の主な内容をわかりやすくお知らせし説明するため、例年に引き続き、「わかりやすいことしの予算」を発行することとしました。

この冊子では、図表や写真を活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけるとともに、本市に関連する京都府の予算の一部についても、掲載しています。行政と市民の皆さんが力をあわせて、より良いまちづくりを進めるきっかけとなれば幸いです。

平成27年5月



地域再生計画認定授与式（内閣総理大臣から認定書授与）
H27.1.22 総理大臣官邸

京丹後市長 中山 泰

目次

○まちづくりの柱	○平成27年度の主なゼロ予算事業 ……………P12
産業の発展と雇用の促進 ……………P4	○健全な行財政基盤づくり（主な取り組み） ……………P13
京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進 ……P6	○平成27年度の主な仕事 ……………P14
未来へのまちづくりの振興 ……………P8	○平成27年度京都府の主な予算（丹後関連） ……………P32
安心・安全のまちづくりの促進 ……………P10	○グラフでみるきょうたんの予算 ……………P34

表紙写真：「京都丹後鉄道」開業による駅名看板除幕式（平成27年4月1日 京丹後市内駅名看板除幕式にて）

平成27年度予算

～ひとみずみどり 市民総参加で飛躍するまち～
北近畿新時代へ和のちから輝く 京丹後
国の交付金を活用した地方創生事業を含めた13か月予算として編成

平成27年度一般会計予算

319.1億円
(対前年度当初予算比 6.7%減)

平成26年度地方創生補正予算

4.1億円

13か月予算総額

323.2億円



平成27年度会計別予算規模

会計名称	平成27年度当初予算	平成26年度当初予算	平成26年度との比較
一般会計	319億1,000万円	341億9,000万円	△22億8,000万円 (△6.7%)
特別会計	214億2,210万円	199億8,580万円	14億3,630万円 (7.2%)
企業会計	92億8,096万円	93億2,898万円	△4,802万円 (△0.5%)
京丹後市総合計	626億1,306万円	635億 478万円	△8億9,172万円 (△1.4%)
国民健康保険事業	78億6,900万円	70億7,400万円	7億9,500万円 (11.2%)
国民健康保険直営診療所事業	4億1,000万円	4億1,400万円	△400万円 (△1.0%)
後期高齢者医療事業	7億 500万円	7億円	500万円 (0.7%)
介護保険事業	61億1,000万円	58億1,400万円	2億9,600万円 (5.1%)
介護サービス事業	6億7,100万円	6億8,900万円	△1,800万円 (△2.6%)
簡易水道事業	17億6,800万円	15億8,300万円	1億8,500万円 (11.7%)
集落排水事業	4億2,000万円	4億 300万円	1,700万円 (4.2%)
公共下水道事業	29億 700万円	27億8,500万円	1億2,200万円 (4.4%)
浄化槽整備事業	2億7,900万円	2億5,100万円	2,800万円 (11.2%)
工業用地造成事業	1億9,050万円	1億9,300万円	△250万円 (△1.3%)
宅地造成事業	4,500万円	4,500万円	0万円 (0.0%)
市民太陽光発電所事業	3,980万円	2,670万円	1,310万円 (49.1%)
峰山財産区	620万円	640万円	△20万円 (△3.1%)
五箇財産区	160万円	170万円	△10万円 (△5.9%)
水道事業	11億8,934万円	12億3,593万円	△4,659万円 (△3.8%)
病院事業	80億9,162万円	80億9,305万円	△143万円 (0.0%)

予算総額は、前年度と比較すると8億9,172万円、1.4%の減となっています。一般会計では、22億8,000万円、6.7%の減となります。

特別会計とは 国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区分するために設けられている会計です。市では、14の特別会計を設置しています。

公営企業会計とは 地方公営企業法の適用を受けて、地方公共団体が経営する水道や病院事業のように、その事業収入により経営を行うために設けられている会計です。

地方創生事業とは 「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、急速な少子高齢化の進展に伴う地方の人口の減少に歯止めをかけ、それぞれの地域で住みよい環境を確保するため、国と地方が一体となって取り組むものです。